

■ 準備

- ・ 「グループへの指示書」「情報紙」各1セット4～6人分 各グループに一枚ずつ
- ・ 大きな用紙 (A3用紙), Toward World Cup2006は「ポジション図」も各グループに一枚ずつ
- ・ 振り返り用紙 各自に一枚ずつ
- ・ 筆記用具

■ ねらい

- ・ 英語 I やオーラル・コミュニケーション I の授業で、英語を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を高める。
- ・ 互いに協力する体験をすることで、人間関係や雰囲気をよくする。
- ・ 英語で書かれた情報紙を指示書に従って課題を解決していく過程で、英語の運用力を高める。(留意点: 情報は、辞書を使っても日本語に訳してもよいが、できる限り英語を使うようにさせる)

■ 実施できる時間

- ・ 外国語 (英語 I, オーラル・コミュニケーション I 等) 時間
- ・ LTの時間

■ 展開例

1 導入

- ・ 与えられた課題を英語を用いて協力することで、解決するエクササイズの目的と方法を説明する。
- ・ チーム全体の協力がないと課題を解決できないことを強調する。なるべく英語を使うように指示する。

2 展開

- ① 4～6人でグループをつくり、グループごとに着席し、リーダーを選出するように指示する。
- ② この活動のねらい、課題、手順、時間などを提示する。
- ③ 情報紙1セットずつを各チームに配り、一人に一枚ずつ裏向けに配るように指示する。特に情報は口頭のみで伝えることができ、他者に手渡したり、見せたりはできないことを徹底する。
- ④ 「グループへの指示書」を配り、読み上げる。
- ⑤ 情報紙が全員に行き渡ったことを確認し、開始を告げて、時間を計る。
- ⑥ 所定の時間が来たら、グループの作業が途中であっても打ち切る。
- ⑦ 制限時間内に解答が出てしまったら、メンバーの誰もが説明できるかどうかを確認する。
- ⑧ 各グループから結果とそれに至った過程を報告してもらい、その後、正解を発表する。

3 振り返り

振り返り用紙を配り、各自で記入する。振り返り用紙に各自が記入したことを分かち合いながら、この課題達成の過程で起こったこと、そこから学んだことをグループで話し合う。各グループの振り返りで話されたことを発表してもらい、この活動のねらいとの関連で気付いたことなどを話す。

4 まとめ

正解数にこだわらず、各グループでどれだけ協力できたか、課題を解決する過程で気が付いたことに注目させる。また、どれだけ英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしたか、コミュニケーションの手段としての英語に気付かせる。英語指導助手がいれば、助言や感想を述べてもらう。

<参考資料> 「Toward World Cup 2006」<http://www.nanzan-u.ac.jp/~tsumura/kyouzaikoukai/kyouzaikoukai.html>
「おもしろ村」『Creative 0.D. 第4巻』(プレスタイム)

グループへの指示書

Toward World Cup 2006

The World Cup will be held in Germany in 2006.

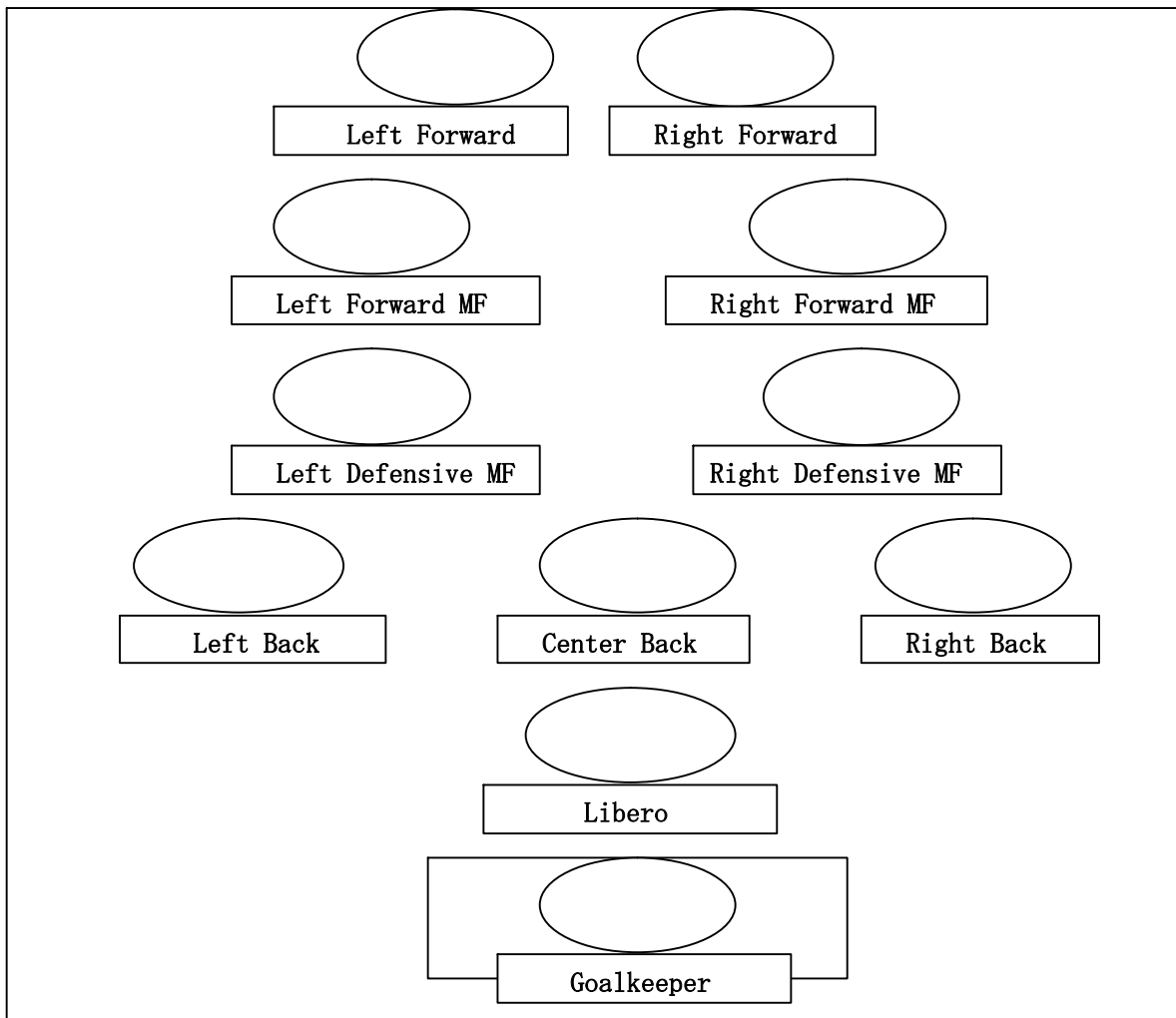
As the result of the Asia tournament, Japan got a position to play in the coming World Cup.

You are sportswriters of Germany. And you need to obtain the starting lineup list of the Japanese team as soon as possible. Now you have the information gathered by them on hand.

You are expected to make effective use of the information in order to determine the starting lineup of the Japanese team within the 25-minute time limit.

Rules:

- Information should be conveyed orally. Do not show or give any other member the information paper.
- Make effective use of the large-sized paper for writing down figures or words while discussing in the group. Do not copy totally what is written in the information paper onto the large-sized paper.



情報カード

- Oguro has a back ache and cannot do his favorite training.
- The Left Back is the slowest runner on the team.
- All of the defenders are in their 20s.
- Miyamoto, Nakamura, and Ogasawara get more than 100 million yen a year.
- The player with the lowest assist rate is Nishizawa and the player with the highest assist rate is Ogasawara. They both play as MFs.
- The Right Forward drives a sports car.
- The Offensive MF is the most lightweight on the team.
- The only left-handed player on the team is the Left Defensive MF.
- The Right Offensive MF, the Right Defensive MF, and Santos are more than 185 cm tall.
- Only Miyamoto and Inamoto drive sports cars.
- Zico is not a defender.
- Kawaguchi has a driver license but no car.
- The most excitable players are the Left Offensive MF, Libero and Santos.
- Nakata is neither the Right Defensive MF nor the Keeper. He is the most lightweight player on the team.
- The fastest runner is Ono.
- The Right Defensive MF gets the most money, followed by the Right Offensive MF and then the Right Forward.
- All of the MF players weigh less than 80 kg except for the Right Defensive MF and the Right Offensive MF.
- The Right Back player is younger than the Left Back player.
- Ogasawara is shorter than the Right Offensive MF.
- Nishizawa is left-handed.
- The only defender who enjoys training is the Center Back.
- The heaviest player is Nakayama.
- Inamoto is the Goalkeeper.
- The Left Back Player gets excited very often and has received yellow cards on many occasions.
- The Libero is the fastest runner on the team.

解答

Answer

Right forward: Miyamoto

Right Offensive MF: Nakamura

Right Defensive MF: Ogasawara

Right Back: Kawaguchi

Left Back: Santos

Goalkeeper: Inamoto

Left forward: Zico

Left Offensive MF: Nakata

Left Defensive MF: Nishizawa

Center Back: Oguro

Libero: Ono

振り返り用紙

★この活動をしてみて・・・ 年 組 () 番 ()

1 あなたはどの程度、自分の言いたいことが言えましたか？

(理由) 1 2 3 4
全く言えなかった 充分言えた

2 あなたはどの程度、人の言うことを聴くことができましたか？

(理由) 1 2 3 4
全く聴けなかった 充分聴けた

3 グループについて参加している実感がありましたか？

(理由) 1 2 3 4
全くなかった 充分あった

4 自分や他のメンバーの考えや行動について感じたことは？

a) 課題達成のために、あなたは、どのような役割を果たしたと思いますか？

b) 誰（自分を含めて）のどのような言動が、課題を達成するのに最も助けとなりましたか？

(誰の) (どのような言動)

c) 誰（自分を含めて）のどのような言動が、課題の達成を遅らせ、または妨げたと感じましたか？

(誰の) (どのような言動)

5 課題達成のためにどのようなことがなされましたか、そして、その結果は？

6 今後チームで仕事をする時に、自分が課題としたいことにはどのようなことがありますか？

7 この活動は楽しくできましたか？

(理由) 1 2 3 4
つまらない とても楽しい

※その他、この活動で感じたことがあれば書いてください。

グループへの指示書

あなたがたの課題は、チームとしてある課題を解決することです。

そのために必要な情報は、すべて情報紙の中にあります。

各情報紙には、部分的な情報しか書かれていませんが、全員の情報を集めれば、課題を解決することができます。

各自がもっている情報は、口頭で伝えてください。他者の情報紙を見たり、他者に渡したり、見せたりすることはできません。

また、情報をみんなが、見えるように黒板や大きな用紙に書き写すことはできません。

スタートの合図から30分で作業は打ち切ります。

各自の持っている情報を、口頭で伝え、大きな用紙に地図や絵や表を描いて、協力して、制限時間内に、これらの答えを見付け出してください。

Information Part 1

- The owner of the dog lives next door to the house with the vineyard.
- Mr. Yamaguchi owns a rabbit.
- The person with a pigeon lives in the wooden, single-story house which has a verandah.
- One house is on the eastern edge of the village.
- Mr. Kawada's neighbor drives a light van.

Information Part 2

- Mr. Kawada's next-door neighbor keeps a monkey as a pet.
- The man who owns a dog grows peaches.
- Mr. Tsukioka lives in a red brick house.
- One of your group's missions, is to decide who drives the truck.
- This village's houses are built side-by-side in a semi-circle.

Information Part 3

- Mr. Hoshikawa grows pears.
- The house with a pasture has a jeep in the garage.
- Each person has a different kind of pet.
- Mr. Tsukioka lives next door to Mr. Umino.
- The motorbike is always kept in the back-garden of the log-house.

Information Part 4

- The person with the cat lives to the east of the house with the chestnut trees.
- One of your group's missions is to decide who lives in the north-east of the village.
- There is often a north-west wind blowing in this village.
- Each person in this village has a different kind of vehicle.

Information 5

- The log-house is the northernmost house in the village.
- Each person in the village cultivates a different kind of food.
- The house with a pasture is beside the mountain hut style house.
- Mr. Tsukioka drives a car.
- Mr. Umino has a pigeon for a pet.

Information Part 6

- Mr. Umino lives on the western edge of the village.
- There is a rabbit of the house with a pasture.
- One of your missions is to determine who grows apples.
- Mr. Kawada lives in the log house.
- Each member of the village lives in a different style of house.

正解

- トラックを運転している人・・・・・・海野さん
- 北東に住んでいる人・・・・・・星川さん
- リンゴを栽培している人・・・・・・山口さん

正解に至る過程

正解を出すためには、マトリックスと地図が必要である。

- アンダーラインは、情報紙から判明するもの。
- 他は、それをもとに推定できる。

名 前	動 物	乗 り 物	果 物	家	方 角
山 口	<u>兔</u>	ジープ	リンゴ	<u>牧場のある家</u>	東の端
川 田	犬	オートバイ	モモ	<u>丸太小屋の家</u>	北
海 野	<u>鳩</u>	トラック	クリ	<u>木造平屋建の家</u>	<u>西の端</u>
星 川	猿	ライトバン	ナシ	山小屋風の家	北 東
月 岡	猫	<u>乗用車</u>	ブドウ	赤レンガの家	北 西

■ 準備

- ・ ワークシート
- ・ 筆記用具（色のボールペンも用意）

■ ねらい

- ・ ワークシートに沿って職業を選択することで分かってくる自分の個性について考える。
- ・ 職業が自己表現の一つの方法であることを学ぶ。生徒自身がどのようなキャリア・アンカー（自分の選ぶ職業の中で、どうしても譲れない大事にしているもの）をもっているのかを探ることで、進路目標の設定や将来を展望させる。

■ 実施出来る時間

- ・ LTの時間
- ・ STの時間(ワークシートⅠとワークシートⅡで二回に分けて実施)

■ 展開例

1 導入

職業を通して、自分を理解しようというエクササイズであること、職業の選択は自己表現の一つであること、自分を表現し、それが受け入れられることが生き甲斐につながることを伝える。

2 活動

- ① 4～6人のグループを作る。できるだけ興味関心の異なる生徒同士でグループを作らせる。
- ② ワークシートⅠの64種類の職業について、自分に適しているものに○印、適していないものに×印、どちらでもないものに△印をつける。
- ③ 印をつけ終わったら、○、×、△それぞれの数を数えて、右の欄に記入させ、印をつけた職業を見て、感じたこと、気付いたことを感想の欄に記入させる。
- ④ ワークシートⅡで、八つに分類した職業の説明を読ませ、読み終わったらワークシートⅠの○印の数を使って、レーダーチャートに記入させる。
- ⑤ ○印が終わったら、×印、△印のグラフの色を変えて記入させる。次に、ワークシートⅠとワークシートⅡを見比べて、職業を選択したことによって今感じていることを記入させる。

3 振り返り

気付いたことを、感じたことについて4～6人のグループで振り返りをする。このとき、相手の職業について、からかったり冷やかしたりせず、相手を尊重するように聞くことを留意させる。

4 まとめ

ワークシートの中に、自分に合う職業がないからといって心配することがないように留意させる。世の中には様々な職業があり、その職業にかかわれるかどうかを判断するもの（キャリア・アンカー）を作っておくこと。その判断基準の一つがこの活動であり、自分にとって大事なものは何か、それを選ぶ自分はどのような考え方をもっているかということを知ることが大切であることを伝える。

「それってどんな自分？」ワークシート I

A	1 大手銀行の頭取(社長)	2 プロ野球の監督	3 大きな病院の院長	4 プロサッカーの監督	○の数 () ×の数 () △の数 ()
	5 大企業の社長	6 総理大臣	7 外務大臣	8 上級国家公務員	
B	9 ソーラーカーの開発者	10 ロボットの開発者	11 リモーターカーの開発者	12 ドキュメント番組のスタッフ	○の数 () ×の数 () △の数 ()
	13 携帯電話の開発者	14 コンピュータの開発者	15 考古学者	16 レインボーフリッジなどの設計者	
C	17 保健室の先生(養護教諭)	18 カウンセラー	19 医者/看護婦(士)	20 弁護士	○の数 () ×の数 () △の数 ()
	21 児童相談員	22 レスキュー隊員	23 保母(父)/幼稚園教諭	24 薬剤師	
D	25 麻薬取締官	26 裁判官	27 検事	28 海上保安官	○の数 () ×の数 () △の数 ()
	29 刑事/警察官	30 消防士	31 船長/パイロット	32 電車/列車の運転士	
E	33 郵便配達員	34 市役所の職員	35 税理士	36 経理事務員	○の数 () ×の数 () △の数 ()
	37 青物店/果物店/花屋/魚屋/クリーニング店の店員/経営者	38 自動車修理工場の自動車整備士	39 ビル管理技術者/電気技師/ボイラ技士	40 農協の職員	
F	41 料理人	42 秘書	43 予備校/学習塾の先生	44 スーパー/コンビニの店長	○の数 () ×の数 () △の数 ()
	45 インテリアコーディネーター	46 リサイクルショップの店員/経営者	47 ホテルのフロント	48 空港のカウンター	
G	49 マンガ家	50 画家	51 陶芸家/ガラス工芸家	52 俳優	○の数 () ×の数 () △の数 ()
	53 映画監督	54 童話作家/小説作家/シナリオライター	55 彫刻家	56 舞踊家	
H	57 ラーメン専門店の店員/経営者	58 バッグ・くつ・かばんの職人	59 大学の先生(学者)	60 古美術鑑定人	○の数 () ×の数 () △の数 ()
	61 学芸員	62 動物園の飼育係	63 獣医師	64 警察犬・盲導犬の訓練士	

○ 適する × 適しない △ どちらでもない

三つ(○, ×, △)の記号を付けた職業を見ながら、感じたことや気付いたことを下の欄に記入してください。

「それってどんな自分」ワークシート II

ワークシート I の職業は八つのグループに分けてあり、各グループの説明が下にあります。まず、この説明をよく読んでください。

○Aグループの説明

このグループの共通点は「マネジメント」です。組織の頂点で自分の方針や考えを打ち出したり言いきかせて、部下（社員）や職員の全体を動かすのです。実績を上げたり人脈をつくったりします。重い責任は行動を振るい立たせます。

○Bグループの説明

このグループの共通点は「プロジェクトの実行」です。プロジェクトとは重要な研究や事業の開発（例：ソーラーカーの開発）のことで。組織の中で物に向かって、今までの知識や経験をすべて注ぎ込んでやり遂げることにあります。

○Cグループの説明

このグループの共通点は人を援助するための「人とかかわり」で、信頼関係を築くこと自体を目的とします。ヘルピング・プロフェッションとって、心身の治療、人命の救助や救済、高齢者や身体障害者の介護・養護が主たる仕事です。

○Dグループの説明

このグループの特徴は「使命感に燃える」ところです。使命感とは任務に忠実であろうとする気持ちです。制服やバッジは社会的使命を象徴しています。私たちの生活の自由と安全と秩序と権利を守ることがこのグループの職業の共通点です。

○Eグループの説明

このグループの特徴は生活の安定です。仕事の内容や日課が一定で、手堅く確かな仕事ぶりが要求されますが、解雇や出向に気をもむことはありません。このような安定が仕事と生き方（ライフスタイル）の基本になっています。

○Fグループの説明

このグループの共通点は「多様な行動や対応」です。お客や相手の好みや求め、そして考え方・受け止め方に柔軟に対応したり対処したりする必要があります。自分の好みや考え方（自説）は、とりあえず脇に置いておけるゆとりが必要です。

○Gグループの説明

このグループに属する職業に就いている人々は、極めて見方や考え方が独創的（真似をしたり模倣しない）です。何も無いところから自分の思いやアイデアに従って、古いものにとらわれず新しいものを創造する意欲があります。

○Hグループの説明

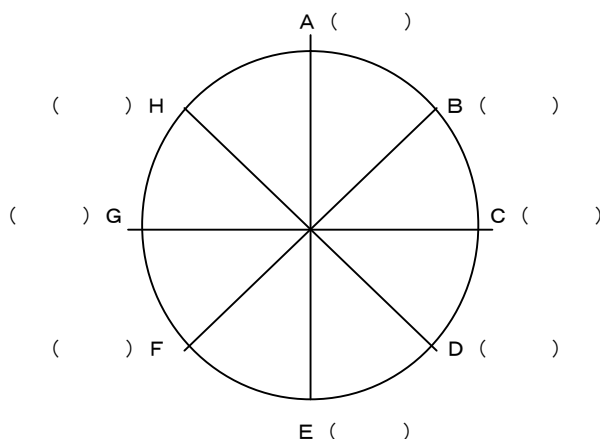
このグループの職業に就いている人々はかなりのこだわりと独立志向、個人志向をもっています。組織の一員として働くことを好まず、自分の思い入れや好みを追求することに仕事の意味（生きる意味＝人生の意味）を見出しています。

次の作業に入ります。ワークシート I を見てください。

このワークシートに0, ×, △の印をした数をA～Hのそれぞれの欄のかつこに書いてください。この印をした概によって下のグラフを作ります。

（中心が0、いちばん外側が8です）

1. ワークシート I の表のAの欄～Hの欄の○の数を下の八角形のグラフに記入して、その点を黒色の線で結んでください。
2. ワークシート I の表のAの欄～Hの欄の×の数を下の八角形のグラフに記入して、その点を赤色の線で結んでください。
3. ワークシート I の表のAの欄～Hの欄の△の数を下の八角形のグラフに記入して、その点を青色の線で結んでください。



4. いま、A～Hのグループの説明を読んで、上のグラフを作りました。このグラフとワークシート I を見て、いま自分が今感じたこと、気付いたことを書いてください。

キャリア・アンカーとは何か

人生という長い航海で、安全な港に停泊するためのその人なりの碇。
この碇は、経験を重ね悩みながら熟成する。

キャリア・アンカーを提唱したのは、マサチューセッツ工科大学教授エドガー・H・シャインである。シャインは、同大学の学生を対象に、卒業後の職業生活について十年余にわたり調査した。

この調査から、次のことが分かった。個人が職業を選択するときには、必ず大事にしたい、こだわりたいというような興味や能力や欲求・価値観、そして態度といったものがある。「選択する」とは、一方で何かを捨てることであるが、「捨てきれない何か」があるというのである。

シャインは、この捨てきれない何かを総称して「キャリア・アンカー（「進路の碇）」と命名した。そして八つのアンカーを設定した。エクササイズ「それってどんな自分？」はシャインのこの仮説をもとに開発され、AからHまでの八つの職業群はそれぞれのキャリア・アンカーを実現したものになっている。

職業生活は私たちの人生の大半を占めるし、人生という私たちのもち時間は船の航海に例えられることが多いので、「人生の碇」と広い意味で理解してもよい。

シャインは、キャリア・アンカーは「発達」するものであると説いている。つまり、私たちが職業経験を積んでいく過程で、経験の中から自分に合った興味や能力、欲求・価値観、そして態度というようなものが、ふくらんだり整理されたりしてまとまってくるというのである。私たちの中にはいろいろな動機や興味、能力、欲求、考え方・見方がある。これらのものは、その人の職業生活の積み重ねの中で変化し、この変化を通して統合されるのである。

社会に出たばかりの若者は、自分のもっているもの（例：興味、能力、欲求、価値観）が定かでないことに悩み、一方、自分の描いていた職業生活と実際の職業生活の間のギャップに悩むことが多い。この悩みは、理想と現実の狭間に漂う時間なのである。

しかし、こういった一連の悩みを通して若者は変容し、自分が何者であるかということ突き止めることになる。つまり、若者はその時点でのキャリア・アンカーを発見し、安全な港にたどり着き、碇を下ろして停泊することになる。

シャインはこう述べる。「人は職業経験を積み重ねることを通して一つのキャリア・アンカーに収束する」と。本書（「エンカウンターで進路指導が変わる」）でキャリア・アンカーをあえて取り上げたのは、大人も生徒も人生を送るうえでいろいろな悩みながらも、一つのキャリア・アンカーに「熟成」ということを知ってほしいと考えたからである。「働きながら学ぶ」という熟成は自己実現である。熟成には柔軟性がなくてはならない。
[田島聡]

～ LAC法による定期考査対策 ～

■ 準備

- ・ 付箋 一人 20 枚程度
- ・ ワークシート (LAC表, 学習計画表)
- ・ 振り返り用紙 (定期考査の結果と反省)
- ・ 筆記用具

■ ねらい

- ・ 自分の行動目標を具体的に考えて、それが実現可能なのか、どの程度必要なのかということを含味する。その作業を通じて、今の自分にとって何が最も重要なのか、何を優先にすれば良いのかをはっきりさせ、自分の目標に向かって行動を起こさせることを目的とする。
- ・ 定期考査に向けて、LAC (生活分析的カウンセリング) 法を使い、学習計画を立てさせ、自立的な活動を支援する。

■ 実施出来る時間

- ・ LTの時間 (定期考査直前7日前程度)
- ・ STの時間 (定期考査直前7日前程度)

■ 展開例

1 LAC表と学習計画表の作成

(1) LAC表の作成

- ① 付箋紙を一人 20 枚、「LAC 法による定期考査対策」、「LAC 表」、「学習計画表」を配布する。
- ② 付箋紙に、定期考査までに各教科でやらなければならないこと、やりたいと思っていることを具体的に一個ずつ書き入れる。
- ③ 付箋紙の右側にN、P、Mの数値を書き入れる。
- ④ 各教科ごとにMの数値の高い順に「LAC 表」に付箋紙を貼る。

(2) 学習計画表の作成

- ① 定期考査の時間割、行事予定、部活動予定、その他の予定の欄に必要なことを記入する。
- ② LAC 表の付箋紙の中で、全体を見て最も重要と思われる二つ選んで、学習計画表に貼る。その際、科目名が分からなくなならないように記入する。

(3) 提出

- ① 付箋紙を貼った「学習計画表」を、担任の指定した日時に提出させる。
- ② 担任は提出された「学習計画表」すぐ返却し、自宅の目に付きやすい所に貼るよう指示する。
- ③ 生徒が、達成できたものには赤ペンで○を付けるように伝える。

(4) 再提出

定期考査の成績順位が出たら、「定期考査の結果と反省」を配布し、「学習計画表」とともに提出させる。次回の定期考査の計画を立てる時に、生徒に返却する。

LAC法による定期考査対策

1 LAC（生活行動分析的カウンセリング）法とは

人は、やりたいこと、やらねばならないことが多いと、何から手を付けたらいいか迷ってしまいます。また、頭では分かっている、なかなか行動に移せないことが多いものです。また、頭では分かっている、なかなか行動に移せないことも多いものです。その結果、毎日を漠然と生活してしまい、結局、何もできずに終わる場合が少なくありません。あなたはどうか？

LAC法は、自分の行動目標を考え、それが実現可能なのか、どの程度必要なのかということ吟味し、その作業を通じて、今の自分にとって最も重要なことは何か、何をすればいいのかなどをはっきりさせ、自分の目標に向かって行動を起こせるようにしようというものです。

2 LAC表（生活行動分析計画図）の作成

- (1) LAC表のグループ名の欄に定期考査の科目を記入する。その他のグループをつくっても良い。
- (2) 付箋紙に、この一週間の中に各教科でやらなければならないこと、やりたいと思っていることを具体的に一個ずつ書き入れる。

悪い例（何をどうやるかがわからない）	よい例（何をどうやるかがはっきりしている）
英語を頑張る	ノートを書き移す 問題集の p. 1～4 をやる
部活を頑張る	シュート練習を一日100本やる
授業をちゃんとやる	授業中は寝ない 提出期限を守る
ダラダラしない	ゲームは一日一時間

- (3) 図のように、付箋紙の左側に、具体的な目標、右側に、N, P, Mの数値を書き入れる。

N…必要性・欲求度・優先度(necessity)を表す。

付箋紙に書いた内容がどの程度必要(重要)かを考えて100点満点で記入する。

P…実現可能性(possibility)を表す。付箋紙に書いた

た行動のやりやすさ、実行しやすさがどの程度かを考えて100点満点で記入する。

M…NとPの平均(mean)を表す。(N+P)÷2を計算して、数値を記入する。

問題集の p. 1～6 をやる	N: 100
	P: 80
数学 I	M: 90

- (4) 各教科ごとに、Mの数値の高い順に付箋紙を貼っていく。
- (5) 貼り終わったら、全体を見て最も重要と思われるものを二つ選び※印をつける。

3 学習計画表の作成

- (1) 行事予定、部活予定、その他の予定の欄に必要なことを書き込む。定期考査の時間割も記入する。
- (2) 「2 LAC表の作成」で作成した付箋紙をはがしながら、「学習計画表」に貼っていく。その際、科目が分からなくなならないように、図のように科目名を記入する。直接、計画表に記入してもよい。

4 提出

- (1) 付箋紙を貼り終えた「学習計画表」を、担任の指定した日時に提出する。
- (2) 担任から返却されたら、各自の自宅の目につきやすいところに貼っておく。
- (3) 達成できたものには赤ペンで○を付ける。

5 再提出

定期考査終了後、赤ペンで○をつけた「学習計画表」を担任に再提出する。

6 記入例

中間考査学習計画表

組 番 氏名 ()

	曜日	学習予定	行事予定	部活動予定	その他
9月22日	木	中間考査時間割発表 英語 I ・ノートをチェックして文章が訳せるようにする ・Lesson6の重要な語句, 構文をチェックして理解	合唱コンクール		
9月23日	金	古典 漢文の書き下し文をやる 助動詞をノートにまとめる			
9月24日	土	理科 ※セミナー科学をやるp.21~31 高校化学の計算問題をやる			
9月25日	日	日本史 ノートp.20~25の語句を覚える 数A 3トライアル, チャートをやる			
9月26日	月	日本史 ノート再チェック 現文 漢字完璧に 英語 I 単語集 テスト範囲を再チェック			
9月27日	火	世界史 ゼミナールをやる ノートチェック 数A 問題集で間違えたところをやる			
9月28日	水	オーラル リスニングCDを聞く 文法チェック 数 I ノートで復習, 問題集をやる			
9月29日	木	中間考査初日 英語 I プリント再チェック 数A 3トライアルの最終チェック			
9月30日	金	古典 文法を完璧にする オーラル 暗唱例文をやる			
10月1日	土	世界史 ゼミナール ノート, プリント暗記 数 I 3トライアルの最終チェック			
10月2日	日	古典 復習プリント見直し 数 I チャート, 問題集を再確認			
10月3日	月	オーラル 暗唱例文, 文法最終確認 世界史 ノートの重要語句を最終確認			
10月4日	火	中間考査最終日			

中間審査学習計画表

組 番 氏名 ()

	曜日	学習予定	行事予定	部活動予定	その他
9月22日	木	中間審査時間割発表			
9月23日	金				
9月24日	土				
9月25日	日				
9月26日	月				
9月27日	火				
9月28日	水				
9月29日	木	中間審査初日			
9月30日	金				
10月1日	土				
10月2日	日				
10月3日	月				
10月4日	火	中間審査最終日			

中間考査の結果と反省

年 組 番 氏名

1 中間考査の素点を書きなさい

	①現代文	② 古典	③数学 I	④数学A	⑤日本史A	⑥世界史A	⑦ 理科	⑧英語 I	⑨オール I
今回の点数									
次回の目標点									

2 中間考査の結果について

- ① とてもよかった よかった まあまあ よくなかった ぜんぜんダメだった
 ② とてもよかった よかった まあまあ よくなかった ぜんぜんダメだった
 ③ とてもよかった よかった まあまあ よくなかった ぜんぜんダメだった
 ④ とてもよかった よかった まあまあ よくなかった ぜんぜんダメだった
 ⑤ とてもよかった よかった まあまあ よくなかった ぜんぜんダメだった
 ⑥ とてもよかった よかった まあまあ よくなかった ぜんぜんダメだった
 ⑦ とてもよかった よかった まあまあ よくなかった ぜんぜんダメだった
 ⑧ とてもよかった よかった まあまあ よくなかった ぜんぜんダメだった
 ⑨ とてもよかった よかった まあまあ よくなかった ぜんぜんダメだった
 全体として とてもよかった よかった まあまあ よくなかった ぜんぜんダメだった

3 中間考査のテスト勉強について

- (1) 思い通りの勉強ができた場合を10点とすると、あなたの今回の実行度は何点でしたか？
 (2) 期末に向けて実行度をどのくらい上げたいですか？

現代文 () 点 → () 点	世界史 () 点 → () 点
古典 () 点 → () 点	理科 () 点 → () 点
数学 I () 点 → () 点	英語 I () 点 → () 点
数学 A () 点 → () 点	オール I () 点 → () 点
日本史 () 点 → () 点	

4 中間考査で自分が一番頑張った教科と得点, どのように試験に取り組んだかを書きなさい。

教科名	得点	試験への取組

- 5 中間考査で自分が一番失敗したと思う教科名と得点, どのように試験に取り組んだかを書きなさい。(特にない場合はなしと記入する)

教科名	得点	試験への取組

- 6 中間考査までで赤点(平均の半分以下)の教科があれば, それを挙げなさい。

--

- 7 これから期末考査に向けてどのように取り組んだら良いと思いますか。学習面での改善点をできるだけ具体的に書きなさい。
